



戦争をさせない Anti-War Committee of 1000 1000人委員会

1000人委員会ニュース No.1
(2014年5月15日発行)
〒101-0063 東京都千代田区
神田淡路町1-15 塚崎ビル3階
TEL: 03-3526-2920
FAX: 03-3526-2921

戦争をさせない1000人委員会の運動を広げよう！

安倍政権は多くの人々の反対の声をねじ伏せ、「解釈改憲による集団的自衛権行使容認」「国家安全保障基本法強行」へと踏み込もうとしています。私たちは、戦争への道を突き進む政府の暴走を阻止し、平和に生きる権利を守りぬくための運動として、「戦争をさせない1000人委員会」を立ち上げました。3月4日に参議院議員会館で「戦争をさせない1000人委員会・発足集会」と記者会見を開催、続く3月20日には東京・日比谷野外音楽堂で、「戦争をさせない1000人委員会・出発集会」が開催されました。運動は着実に全国へ拡がりつつあります。5月から6月22日の国会会期末にかけては、戦争への道を突き進む政府の暴走を阻止する上で大きな山場となるため、1000人委員会として下記のように、さまざまな集会・行動を企画しております。「戦争をさせない全国署名」も含め、これらの取り組みを大きく成功させていきたいと考えます。どうか私たちの思いにご賛同頂き、運動の発展のためにお力をお貸し頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

各地で1000人委員会立ち上げが進んでいます

これまでの立ち上げ

- 北海道：戦争をさせない北海道委員会(4月12日)
- 群馬：戦争をさせない1000人委員会・群馬(5月3日)
- 茨城：戦争をさせない茨城県1000人委員会(5月3日)
- 静岡：戦争をさせない1000人委員会・静岡(4月30日)
- 岐阜：戦争をさせない1000人委員会岐阜県実行委員会(4月26日)
- 愛知：戦争をさせない1000人委員会あいち(5月2日)
- 新潟：戦争をさせない1000人委員会にいがた(4月19日)
- 富山：「9条を守る富山県民の会」が1000人委員会運動に取り組む
- 福井：平和憲法を未来につなぐ福井県民の会(5月3日)
- 近畿ブロック：「平和憲法を守れ」関西集会(5月10日)
- 広島：戦争をさせない広島1000人委員会(5月12日)
- 徳島：戦争をさせない1000人委員会徳島(4月19日)
- 長崎：戦争への道を許さない！ながさき1001人委員会(5月3日)
- 熊本：「特定秘密保護法廃止熊本の会」が1000人委員会運動に取り組む
- 鹿児島：戦争をさせない1000人委員会鹿児島県実行委員会(5月3日)

これからの立ち上げ

- 岩手：「戦争をさせない！岩手県委員会」5月19日発足・記者会見を予定
- 秋田：発足に向け準備中
- 埼玉：6月7日発足集会とデモ
- 東京：「戦争をさせない1000人委員会・東京」5月30日発足に向けて準備中
- 神奈川：発足に向け準備中
- 三重：発足に向け準備中
- 奈良：戦争をさせない奈良1000人委員会(31日午後1時半から、奈良市の県文化会館で設立総会)
- 香川：戦争をさせない1000人委員会かがわ(5月23日に高松市の「社会福祉センター」で設立総会)
- 佐賀：6月14日発足集会
- 宮崎：5月25日結成集会



北海道

○3.4 発足集会、3.20 出発集会については、1000人委員会ホームページのサイトをご参照ください。

<http://www.anti-war.info/report/>

○各地の1000人委員会へのご参加・お問い合わせは、下記の1000人委員会事務局まで

TEL: 03-3526-2920

FAX: 03-3526-2921

Mail: info@anti-war.info

戦争をさせない全国署名をさらに広げましょう

「解釈改憲」と閣議決定による「集団的自衛権行使」容認に断固反対する世論醸成に向け、安倍首相に対する「戦争をさせない全国署名」運動を全国の各地域・組織で進めています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

第1次署名締め切り：5月31日 ※締め切りを越えてもお送り頂ければ対応します

集会・活動スケジュール

5月15日時点での予定です。情勢は流動的で、日程変更や緊急の行動呼びかけをさせていただきます。詳細は事務局までお尋ねください。

- 5月18日（日） 13：00～ 街頭署名行動 場所：有楽町駅前広場周辺
※1時間半程度を予定しています。
- 5月20日（火） 18：30～ 院内集会（衆議院第1議員会館大会議室）
※情勢により集会前後に国会周辺で抗議行動
- 5月28日（水） 18：30～ 院内集会（衆議院第1議員会館大会議室）
※情勢により集会前後に国会周辺で抗議行動
- 6月 3日（火） 18：30～ 講演集会（仮称）（日本教育会館3階大ホール）
※参加費500円をお願い致します
- 6月12日（木） 18：30～ 全国署名提出集会（日比谷野外音楽堂）
※集会前に署名提出行動、集会後パレード（予定）

宣伝資材のご案内

ポスター：A2判。ご希望枚数お分け致します。送料のみ着払いにてご負担ください。

のぼり旗：「ピンク」「青」の2種類あります。1枚1,000円（送料込み）でお分け致します。

パンフレット：A5判30ページ。1冊200円（送料込み）でお分け致します。

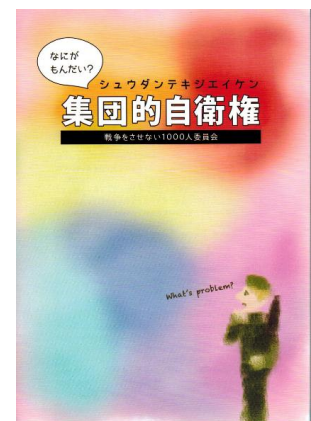
※数に限りがありますので、事務局までお問い合わせください。



のぼり旗



ポスター



パンフレット

5月3日 憲法記念日の集会

【いま「戦争をさせない」決意を新たに 施行67周年 憲法記念日集会】

5月3日の憲法記念日には、多くの集会が全国各地で開催されました。東京・日本教育会館で開催された「施行67周年 憲法記念日集会」（主催：フォーラム平和・人権・環境）では、市民や労働組合代表など約700人が参加しました。主催者あいさつに立った1000人委員会呼びかけ人の福山真劫さんは、「原発再稼働、沖縄新基地建設、そして集団的自衛権合憲化の安倍自公政権の暴走を止めなければならない。そのため全国に『戦争をさせない1000人委員会』をつくり、集会や署名などの運動を展開しよう」と訴えました。近藤昭一さん（「立憲フォーラム」代表）は、「戦争は政治の失敗だと言われている。憲法を私たちのものとして、絶対に戦争をおこしてはならない」と決意を述べました。シンポジウムでは、「戦争をさせない1000人委員会」の呼びかけ人から小室等さん、雨宮処凜さん、佐高信さん、鎌田慧さんが登壇。憲法や戦争から原発や沖縄基地問題まで多方面におよぶ討論が行われ、合間に小室等さんの歌と演奏も交えて2時間のシンポジウムが行われました。



<呼びかけ人からのメッセージ>



雨宮処凜さん(作家・活動家) 憲法や権利があることにリアリティが持てず生活をしている人々がいます。戦争博物館で残酷なものを撤去するという話がすごく進んでいます。私自身、子どもの頃に見せられて、ある種のトラウマになっているからこそ、戦争に対する恐怖感があります。残酷な部分を排除し、無味乾燥なクリーンなものにしてしまう動きはおかしい。



鎌田慧さん(ルポライター) 戦争の時、東北に疎開していました。敗戦の後の解放感を体験した世代で、憲法を教えられるようになりました。憲法とは条文というより精神であると思います。空襲や原爆の体験があり、戦争を繰り返したくない、そういう政治体制に戻したくないということで戦争をさせない1000人委員会があります。



小室等さん(シンガーソングライター) 子どもの頃は、戦争に行き帰ってきた大人たちが酒の席で辛かった戦争での軍隊生活の話をしていました。黒田三郎氏の生前の詩集には、安倍政権の政策に反対する私たちの取り組みにシンクロする詩がいっぱいあります。戦争という一つの道に突き進むような社会を作ってははいけません。



佐高信さん(評論家) 安倍政権で再び竹中平蔵などが、自らの権益のために派遣事業を拡大しようとしています。メーデーで安倍首相を呼んでいる場合ではありません。積極的平和主義というのは、言い換えれば“積極的戦争主義”です。若い人にどうやって歴史を身近にさせるか、ということを一生涯懸念考えています。

【解釈改憲許さないの固い決意で 5・3 憲法集会&銀座パレード2014】

生かそう憲法、輝け9条のスローガンで14年間、毎年開催されてきた憲法集会（主催：実行委員会）が東京・日比谷公会堂と周辺で開催されました。主催者を代表して高田健さん（1000人委員会事務局次長、許すな！憲法改悪・市民連絡会）が挨拶、ジャーナリストの津田大介さん、憲法学者の青井美帆さん（1000人委員会呼びかけ人）、社民党吉田忠智党首、共産党志位和夫委員長らがスピーチしました。津田さんは「解釈改憲は無理が通れば道理が引っ込む」というやり方だ、と安倍首相らのやり方を批判しました。さらに今回は「1分間スピーク・アウト」として

17 人の市民などがリレートークを行い、好評を博しました。発言者は口々に解釈で 9 条を壊させない、戦争をする国にさせないとそれぞれの生き、働いている現場から力強く訴えました。集会後のデモには 3700 人が参加し、東電前で「再稼働反対」「被災者に完全補償を行え」などの声をあげました。銀座では右翼の罵声に屈せず、「戦争する国にさせない」などの声を上げました。



<呼びかけ人からのメッセージ>

青井美帆さん（憲法学者） 9 条が国家を縛ってきたおかげで、自衛隊は外国の兵士を 1 人も殺していないし殺されてもいません。これは誇るべき事です。海外派兵された自衛隊員が棺に入って帰ってくることを、私たちは受け入れられるのか、自衛隊にとっても不幸です。殺し殺される価値観のリアルさが語られていません。集団的自衛権行使容認のために示された 4 類型は、アンリアルです。世論調査では改憲反対が増えています。あるべき日本の姿を問わない今の政治はおかしいと思います。

集団的自衛権をめぐる動き

オバマ訪日と集団的自衛権

「集団的自衛権」の議論が加速しています。これは、他国による戦争への参加を意味することに他なりません。しかし、4 月下旬のオバマ大統領訪日での日米共同声明において、「米国は、集団的自衛権の行使に関する事項について日本が検討を行っていることを歓迎し、支持する」との文言が入りました。安倍首相は、こうした取り組みを「積極的平和主義」として掲げています。

今回の訪日では、日米安保条約第 5 条(日本の施政下にある領域での武力攻撃について言及)の適用範囲に、中国との摩擦が懸念されている尖閣諸島が含まれることも明言されました。武器輸出三原則を、「防衛装備移転三原則」へと 4 月 1 日に閣議決定で転換したことから、現政権下での戦争準備を強固にする「死の商人」としての防衛産業に日本が加担し始めた罪は大きいです。集団的自衛権の議論が今現在行われていることは、いかに戦争への道筋を日本が開きつつあるかということであり、大きな警鐘を鳴らしていかなくてはならないでしょう。

連休明けの政府動向

5 月半ばにも、首相の私的諮問機関「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会（安保法制懇）」が集団的自衛権の行使を容認する内容の報告書を首相に提出するとされています。憲法解釈の変更を促し、行使する際の要件として、密接な関係にある国が攻撃されること、放置すれば日本の安全に重大な影響が出ること、攻撃された国から明確な支援の要請があること、国会の承認を得ること（ただし緊急時には事後承認となる）といった 6 条件が盛り込むと報じられています。この報告書を受けて、夏にも集団的自衛権を容認する新たな憲法解釈を閣議決定する可能性が懸念されています。

また、自衛隊法など集団的自衛権の行使容認に関する 5 法案（自衛隊法、周辺事態法、国連平和維持活動＜PKO＞協力法、船舶検査活動法、武力攻撃事態対処法）を先行改正する方針を固めているとされています。そのうち、自衛隊法には、自衛権と警察権の中間にあたる「対抗措置」を新設し、手順を踏んだ上で、必要な武器使用ができるように権限を拡大するのではとの見方もあります。さらに、憲法の改正手続きを定める「国民投票法改正案」が憲法審査会で議論され、5 月 9 日に衆議院を通過しました。国民投票の投票権年齢が法施行の 4 年後に「20 歳以上」から「18 歳以上」に引き下げられる等の内容で、参議院で審議された上で今国会中に成立する見通しです。非戦・非軍事を定めた憲法 9 条の存在を揺るがす動きが拡大しています。

<事務局からのお知らせ>

各地域の取り組み、1000 人委員会の立ち上げ、賛同者の皆様のメッセージなどを次号から掲載していきたいと考えています。事務局へ手紙、FAX、メールでお寄せください。掲載しきれないこともありますのでご了承ください。